

## 知事コメント

(文化観光推進法に基づく「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」の認定について)

令和5年9月1日  
富山県知事 新田 八朗

本日、今年度の文化観光推進法に基づく計画認定について国から発表され、県から申請していた「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」が認定されたことは嬉しく思います。

県では、本年6月に策定した新世紀とやま文化振興計画の後期重点施策の主な取組みの一つとして「文化観光の推進」を位置付けたところであり、今回の認定を弾みとして、文化資源の活用による地域活性化の推進につなげていきたいと考えています。

立山エリアについては、来年6月に「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放が予定されており、当該エリアの活性化につながる機運が醸成されています。そうした中、立山博物館を拠点として、立山の歴史・文化を知るという点での高付加価値化を図ることは、従来の立山の雄大な自然を体感するだけでなく、立山観光の魅力ある新たな取組みの一つになると考えています。

今後は、共同申請者である立山町や関係団体、観光事業者等と連携し、立山エリアの高付加価値化を図る様々な事業を展開し、観光の振興、地域の活性化につなげ、その経済効果を文化振興に再投資される好循環を創出してまいります。